

全建発第14～175号  
平成14年9月6日

行政機関の長 殿  
土木等部門の長 殿

社団法人 全日本建設技術協会  
会 長 鈴木 道雄



### 第32回実地研修会開催のご案内

〔有珠山噴火災害復旧事業と道央圏連絡道路整備事業〕

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員約10万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力向上が求められております。

この度の研修会の趣旨を御理解のうえ、本研修会を研修の場として活用され、貴職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

敬 具



全建発第13～319号  
平成14年1月18日

社団法人 全日本建設技術協会  
研修委員長 望 月 常 好  
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



### 平成14年度の講習会参加について（お願い）

本会の建設技術講習会及び実地研修会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加者をいただいております、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力向上が求められます。例えば、平成13年4月から適用された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」においても、「国、特殊法人等及び地方公共団体は、それぞれの職員に対し、公共工事の入札及び契約が適正に行われるよう、関係法令及び所管分野における公共工事の施工技術に関する知識を習得させるための教育及び研修その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされており、「職員研修」は一層重要であると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成14年度の建設技術講習会・実地研修会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

以上の趣旨を御理解のうえ、研修の場として活用され、多数派遣されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、貴管下の市町村も含め本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

殿



社団法人 全日本建設技術協会  
会 長 鈴 木 道 雄

## 第32回実地研修会（有珠山噴火災害復旧事業と 道央圏連絡道路整備事業）開催について

本協会事業については平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会は、平成14年10月30日(水)～11月1日(金)、札幌市において、標記研修会を開催いたしますので、ご参加下さるようお願い申し上げます。

本研修会は国土交通省の後援を受けております。

資料及び研修料の領収証は当日受付にて、お渡しいたします。なお、事故防止のため、自家用車での参加は一切お断りします。また、有珠山周辺などは特に冷え込むことが予想されますので防寒着（厚手のセーター、コート）は必ず持参下さい。（足場の悪い所もございますので滑りにくく歩きやすい靴でご参加願います。

### 記

①会場及び日程：別記のとおり

②研 修 料：23,500円〔うち昼食代2,400円（2日分）〕

③募 集 人 数：400名

④申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金を添えて期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。

申込金が同封されていなかったり、銀行振込の（写）が添付されていない場合は受理できません。

**研修会当日の追加申込は原則として受付いたしません。**

⑤申込書送付先：社団法人 全日本建設技術協会 事業課 ☎03(3585)4546

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ランディック藤井ビル7F

⑥送金について：研修料の送金先 あさひ銀行赤坂支店 普通預金口座№665206

口座名義：(社)全日本建設技術協会講習会会計

**お振込の際は、振込名義の前に「32回」を付け加えて下さい。**

⑦申 込 締 切 日：平成14年10月7日(月)必着（締切日以降に到着したものは受理しませんので、お申込みが締切日直前となる場合は、必ず事前にご連絡下さい。）

### ※取り消し・返金について

申込期限後の取り消しについては、返金できません。ただし、公務上緊急の都合による場合に限り、下記のように処理いたします。なお、返金及び欠席者のテキストは講習会終了後に、所属協会宛にお送りいたします。

#### 【返金方法】

|                  |           |
|------------------|-----------|
| 10月18日(金)までの取り消し | 研修料の全額を返金 |
| 10月24日(木)までの取り消し | 研修料の半額を返金 |
| 上記を過ぎてからの取り消し    | 返金いたしません  |

講習会・研修会の予定(日程、テーマ等)については、全建ホームページもご覧下さい。<http://www.zenken.com/>

# 第32回実地研修会(有珠山噴火災害復旧事業と道央圏連絡道路整備事業)日程

会場：サッポロファクトリーホール  
〒060-0032 札幌市中央区北2条東3丁目 TEL：011-207-5233

## 《説明会》平成14年10月30日（水） 12:00より受付開始

| 演 題           |                 | 講 師                          |         |
|---------------|-----------------|------------------------------|---------|
| 13:00 ～ 13:50 | 有珠山の噴火災害と復旧・復興  | 北海道虻田町長                      | 長 崎 良 夫 |
| 14:00 ～ 15:00 | 有珠山2000年噴火と火山災害 | 北海道大学大学院理学研究科<br>地球惑星科学専攻・教授 | 宇 井 忠 英 |
| 15:10 ～ 16:00 | 有珠山の泥流対策工事      | 北海道建設部砂防災害課<br>課長補佐          | 西 尾 正 巳 |
| ご挨拶           |                 | 北海道開発局建設技術協会会長               | 山 本 茂   |

## 《現場研修》10月31日（木）

会場前（8：30）出発

- 札幌ドーム建設事業（下車見学） 札幌市豊平区羊が丘 **平成13年度全建賞** 札幌市都市局建築部
- 札幌ドームは、4万人を超える観客を収容できる大規模全天候型ドーム。  
野球場とサッカー場の両立を可能にするために開発された、移動式サッカーフィールドは、天然芝のフィールドを空気圧によって上昇させ、車輪でクローズド・アリーナとオープン・アリーナの間を移動する世界初のシステムを採用している。
- 北海道縦貫自動車道美原大橋・美原バイパス(下車見学) 石狩郡新篠津村～空知郡南幌町 札幌開発建設部
- 美原バイパスは北海道縦貫自動車道江別東 IC から国道12号、石狩川をまたぐ3.9kmの区間。国道12号には江別 IC ができ、北海道縦貫自動車道、国道12号との連結を強化する。  
また、石狩川には日本でも有数の鋼斜張橋となる美原大橋(L=972m)も建設中。
- 豊浜トンネル崩落事故復旧事業(下車見学) 古平郡古平町 小樽開発建設部
- ・豊浜トンネル崩落事故:平成8年2月10日、一般国道229号豊浜トンネル(古平郡古平町沖町)の古平側坑口から約45m付近でトンネル上方の岩盤が崩落し、トンネル部約26m、巻き出し部約18mの計約44m区間が押し潰された。  
復旧方法については「豊浜トンネル復旧工法技術委員会」において、現道ルート案と山側迂回ルート案が提案され、防災面でも十分な安全性を確保するとともに、できるだけ短期間で復旧を終えることを基本に検討し、迂回ルート案で実施。  
崩落箇所を山側に迂回するトンネルを掘削し、現豊浜トンネルと現セタカムイトンネルを接続する案で、豊浜トンネル古平側坑口から約285m 余市側の地点で分岐し、セタカムイトンネル内に接続する延長1,260m のバイパストンネルを掘削、全長2,228mのトンネルとする。施工に当たっては、作業坑から掘削することにより通行規制の短縮を図ることとした。
- 小樽港湾整備事業(下車見学) 小樽市築港 小樽開発建設部 → 昼食・小樽市内(12:00～13:00)
- 道央自動車道 有珠山噴火災害復旧事業 虻田郡虻田町 **平成13年度全建賞** 日本道路公団
- 平成12年の有珠山噴火活動に伴う地殻変動により、道央自動車道では噴火口から約700m離れた虻田洞爺湖 IC 付近で、8mの水平移動と6mの隆起が観測され、トンネルや橋梁は多大な被害を受け、舗装路面、建物や道路情報板にも飛来した噴石による損壊があった。臨時火山情報が発表されてから、24時間体制で緊急点検、情報提供、関係機関と連携した情報収集、有珠山監視体制への協力、連絡調整を行った。  
地殻変動の影響を受けていることから、目視点検のほか、測量による線形の変状の把握、橋梁の杭のボーリング調査による損傷の把握、橋梁載荷試験による健全度の把握、切土のり面の傾斜計等による変状の把握、トンネル内覆工コンクリートや舗装の取り壊しによる支保工やインパートの損傷の把握などを行い、構造物ごとに復旧工法を検討した。  
復旧工事には、橋台やトンネル覆工を再施工する工事もあったが、厳冬期においても昼夜連続作業により進められ平成13年6月30日に全線の復旧工事が完成した。この道央自動車道の復旧工事完成は洞爺湖温泉街を始めた被災地域の復興に大きく寄与している。
- 洞爺湖(18:30)着(泊)

## 《現場研修》11月1日（金）

宿舎よりバスにて8:45出発、説明会場へ

《説明会》(9:00～10:00)町営洞爺湖文化センター 虻田郡虻田町洞爺湖温泉町 TEL 01427-5-4400

講 師 北海道開発局室蘭開発建設部有珠復旧事務所所長 渋谷 元  
北海道室蘭土木現業所洞爺出張所主幹 中村 弘喜

説明会終了後バスに乗車、現場(虻田町内)まで移動10分

- 板谷川災害関連緊急砂防工事・西山川災害復旧工事(下車見学) **平成12年度全建賞** 北海道室蘭土木現業所

噴火災害の中で板谷川では、泥流による土砂災害防止が、西山川では泥流により発生した被害の拡大防止及び早期復旧が緊急課題とされた。しかし、火口を中心にした広い範囲が火山活動に伴う避難指示地区であり、立入禁止であったため、 有人による有効な対策工事が実施不可能であった。このため無人化施工により工事を実施した。これにより板谷川における4万 m<sup>3</sup>の遊砂地工事、流出したコンクリート橋梁の破壊、除去、流路工内2万 m<sup>3</sup>の堆積物掘削・搬出を可能にした。

- 国道230号被災状況(一部下車見学)と復旧事業 室蘭開発建設部

有珠山の噴火により国道230号は道路に噴火口や断層が発生するなど直接的な被災により寸断された。今なお、通行規制が敷かれていること、有珠山の火山活動に対する防災性などを考慮すると原形復旧は不可能な状況におかれている。  
○国道230号復旧ルートの概要 【ルート選定時のポイント】  
・有珠山の火山活動に関する防災性、国道としての幹線性、洞爺湖温泉地域をはじめ西胆振地域の早期復旧および地域への支援、避難路としての活用性、今回の噴火で被災しなかった北電送水トンネルより西側に坑口を設けた洞爺湖側の珍小島から虻田町字清水を結ぶ約4.6kmのルート。

→ 昼食・昭和新山(12:00～13:00) 有珠郡壮瞥町

→ 白鳥大橋 平成2年度建設事業イメージアップ賞 室蘭開発建設部 → 白鳥大橋記念館室蘭市祝津町(下車見学)

→ 苫小牧港湾整備事業(下車見学)苫小牧市東港区弁天 第4回21世紀の「人と建設技術」賞 室蘭開発建設部

苫小牧港の開発は西港区、東港区を併せ港湾区域約14,000ha、海岸線約24kmに及び、背後には西部工業団地・東部地域という本道随一の大規模工業地帯が形成され、また多くの内貿定期航路が開設され道内の流通拠点ともなっている。特定重要港湾にも指定されており、本道経済はもとより日本経済の安定的発展にも大きな役割を果たしている。

東港区には、石炭火力発電、石油備蓄、コールセンター等エネルギー関連、および自動車関連・機械・金属等の企業が進出している。平成7年8月に苫小牧東部地域基本計画が変更され、工業基地としての生産機能はもとより研究開発機能や居住・生活機能を備えた、「複合開発」を進めるに伴い、東港区の流通港化も認められ、今後、北の物流拠点としての発展が期待されている。

→ 新千歳空港(千歳市美々)(16:30)着後解散予定 → J R 札幌駅(18:00頃)着後解散予定

※上記説明会講師、現場研修コース、見学箇所は(案)であり変更となる場合があります。

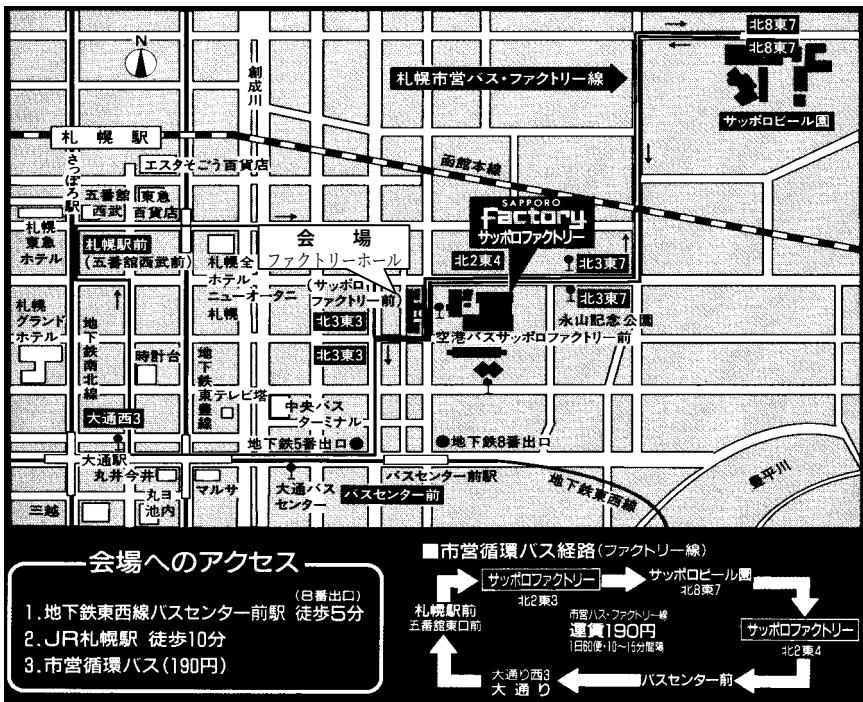


## 第32回実地研修会の宿泊案内図



## 会場案内図

サッポロファクトリーホール 札幌市中央区北2条東3丁目  
TEL 011-207-5233



※10月31日(木)の現場研修出発場所は、会場前のサッポロファクトリー  
観光バス駐車場となります。



## 第32回実地研修会（有珠山噴火災害復旧事業等）宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊予約を希望される方には下表のホテルを斡旋いたします。

①**宿泊予約申込** 希望者は、次の事項を確認のうえ予約お申し込み下さい。

②**宿泊予約金** 宿泊予約金（1人1泊4,000円）については**下記旅行会社に貴協会名にて直接送金願います。：お振込の際は、振込名義の前に「32回」と付加して下さい。**

（申込書は全建事務局宛に送付下さい）

西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店 ☎03(3272)2411 FAX03(3272)3169

銀行口座 東京三菱銀行八重洲通支店 普通預金口座№1015114

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-9-12（第6中央ビル5F）

③**宿泊予約の取消・変更**

申込後の宿泊予約の取り消し、変更については**上記旅行会社の「全建担当デスク」まで直接ご連絡下さい。**

「返金方法」

|                  |             |
|------------------|-------------|
| 10月18日(金)までの取り消し | 宿泊予約金の全額を返金 |
| 10月24日(木)までの取り消し | 宿泊予約金の半額を返金 |
| 上記を過ぎてからの取り消し    | 返金は一切ありません  |

④**斡旋する宿舍名、宿泊料**

○**札幌市内** 平成14年10月29日(火)【説明会前日】、30日(水)【説明会当日】

(洋室シングル、1泊朝食付き・サービス料・消費税を含む)

| 記号       | 宿舎名          | TEL・所在地                           | 部屋タイプ | 幹旋人数 | 全建宿泊代金 |
|----------|--------------|-----------------------------------|-------|------|--------|
| A        | 札幌グランドホテル    | TEL：011-261-3311<br>札幌市中央区北一条西4丁目 | シングル  | 30名  | ¥9,800 |
|          | 札幌パークホテル     | TEL：011-511-3131<br>札幌市中央区南十条西3丁目 |       | 70名  | ¥9,800 |
|          | 札幌東武ホテル      | TEL：011-242-0111<br>札幌市中央区南四条東1丁目 |       | 30名  | ¥8,400 |
| B        | 札幌リッチホテル     | TEL：011-231-7891<br>札幌市中央区北一条西3丁目 |       | 80名  | ¥7,500 |
|          | 札幌第一ワシントンホテル | TEL：011-251-3211<br>札幌市中央区北四条西4丁目 |       | 50名  | ¥7,350 |
| 宿泊幹旋人数合計 |              |                                   |       | 260名 |        |

※朝食なしをご希望の方には、札幌市内のすべての斡旋宿舍において対応いたします。

・上記ホテルを先着順で斡旋します。ホテルの指定はできません。

○**虻田町** 平成14年10月31日(木)

(和室相部屋、1泊2食付き・サービス料・消費税・入湯税を含む)

| 宿舎名          | TEL・所在地                                       | 部屋タイプ     | 幹旋人数 | 全建宿泊代金  |
|--------------|-----------------------------------------------|-----------|------|---------|
| 洞爺湖万世閣       | TEL：0142-73-3500<br>北海道虻田郡虻田町内字<br>洞爺湖温泉町21番地 | 和室<br>相部屋 | 200名 | ¥11,000 |
| 洞爺プリンスホテル湖畔亭 | TEL：0142-75-2211<br>北海道虻田郡虻田町内字<br>洞爺湖温泉町7-8  |           | 200名 | ¥11,000 |
| 宿泊幹旋人数合計     |                                               |           | 400名 |         |

・部屋タイプは、4～5人の相部屋となり他の協会の方と同部屋となる場合もありますのでご了承ください。

・非喫煙者の方同士の部屋を今回に限り設定しますので、希望される方は申込欄（10/31）に▲印を記入して下さい。

この場合も4～5人の相部屋となりますので他の協会の方と同部屋になる場合があります。

⑤**申込の記入及び決定の通知等**

・宿泊希望者は、別紙申込書の宿泊予約欄に10/29、10/30札幌市内はA又はBを、10/30虻田町は○または▲の記号を記入し、全建事務局宛に送付願います。

・お申込後、宿舍が決定次第、宿泊料、宿舍及び所在地等協会宛にご通知いたします。

・11月1日(金)朝の出発場所は上記の宿舍近辺からとなりますので、なるべく上記宿舍にご宿泊ください。

## 第32回実地研修会の団体航空便斡旋について

下記の要領にて、団体航空便を斡旋致します。**この航空代金は斡旋のこの便に限り有効となるものです。この金額による別の便への変更は出来ませんので、ご注意下さい。**

希望者は申込書の右端の該当欄にA～Hを記入願います。

航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方には通知いたします。

定員に達し次第締め切りとさせていただきます。

航空運賃は申込と同時に金額を別記旅行会社宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。

### 【往路】10月29日（火）説明会 前日

| 記号 | 搭乗区間（発着予定時刻）              | 便 名              | 斡旋席数 | 片道航空代金  |
|----|---------------------------|------------------|------|---------|
| A  | 羽田→札幌<br>(15:20) (16:50)  | JAL517<br>(日本航空) | 80席  | 15,000円 |
| B  | 名古屋→札幌<br>(15:25) (17:00) | JAL857<br>(日本航空) | 20席  | 20,000円 |
| C  | 伊丹→札幌<br>(14:55) (16:45)  | JAL577<br>(日本航空) | 20席  | 25,000円 |

### 10月30日（水）説明会 当日

| 記号 | 搭乗区間（発着予定時刻）            | 便 名               | 斡旋席数 | 片道航空代金  |
|----|-------------------------|-------------------|------|---------|
| D  | 羽田→札幌<br>(9:00) (10:35) | ANA57<br>(全日本空輸)  | 30席  | 15,000円 |
| E  | 伊丹→札幌<br>(8:30) (10:20) | ANA771<br>(全日本空輸) | 20席  | 20,000円 |

### 【復路】11月1日（金）現場研修 最終日

| 記号 | 搭乗区間（発着予定時刻）              | 便 名               | 斡旋席数 | 片道航空代金  |
|----|---------------------------|-------------------|------|---------|
| F  | 札幌→羽田<br>(17:40) (19:10)  | JAL518<br>(日本航空)  | 80席  | 18,000円 |
| G  | 札幌→名古屋<br>(18:40) (20:25) | JAL860<br>(日本航空)  | 20席  | 21,000円 |
| H  | 札幌→伊丹<br>(17:30) (19:25)  | ANA780<br>(全日本空輸) | 30席  | 25,000円 |

- ・団体航空券のため、申込者個人に航空券はお送りできません。
- ・各出発空港の集合場所に、出発時刻の約50分前にご集合願います。  
(詳しくは申込締切後、お申し込みのあった協会にご案内をお送りします。)
- ・搭乗日・搭乗区間・便の変更はできません。
- ・乗り継ぎのある方は、着後30分以上の乗り継ぎ時間が必要となります。
- ・上記料金には、航空保険特別料金（1区間400円）が含まれています。

【取消料について】各片道1席につき下記取消料がかかります。（ご予約の変更はできません。）

| 記号        | 搭乗区間 | 10/11～10/17に<br>取消した場合 | 10/18～10/24に<br>取消した場合 | 10/25以降便出発まで<br>に取消した場合 |
|-----------|------|------------------------|------------------------|-------------------------|
| A～H（全便共通） |      | 3,000円                 | 6,000円                 | 9,000円                  |



社団法人 全日本建設技術協会 殿

第32回実地研修会（有珠山噴火災害復旧事業等）申込書

※10月31日の洞爺湖は禁煙部屋を希望する場合▲印を記入して下さい

- 〔注〕 ① 申込金を銀行送金される場合は、銀行振込の（写）を申込用紙に必ず添付して下さい。
- ② 申込は〆切日の10月7日(月)までに必着、厳守のこと。
- ③ 資料及び領収書は当日受付にてお渡しいたします。
- ④ 幹旋する宿舎は**札幌市内のホテル（シングル）を1泊朝食付で、虻田町洞爺湖のホテル(相部屋)を1泊2食付**で幹旋いたします。**虻田町洞爺湖**のホテルは和室、相部屋となりますので禁煙部屋を希望される場合は▲印を記入して下さい。（詳しくは別紙宿泊予約申込案内をご覧ください）
- ⑤ 申込の際は研修・宿泊希望欄に○印を記入して下さい。